

# 結い YUI

「結い」とは、田植などの時の助け合いのことを言います。土くさく温かい言葉です。

発行者 山梨県人権擁護委員連合会  
事務局 〒400-8520  
甲府市丸の内一丁目一八  
甲府地方事務局内  
電話 (055)252-7239

## 新ホームページスタート

### 「人権やまなし」

山梨県連におけるICT化の推進は平成二十五年度定時総会決議に基づいて、全国に先駆けた取り組みを行ってきました。

最初に取り組んだメールリングシステムの構築は、今やアドレス登録率七十五%、電子メールによる職務執行結果の報告率六十%超の成果を見えています。



する新たな啓発活動を見せるホームページ「人権やまなし」

「道しるべ」として、新たな相談

し」が暫定スタートします。このスタートまでには、サー

また、ICT化推進策の第二弾として、取り組んでいるホームページの開設は県連におけるICT化の集大成として、二月四日、電子媒体を活用

する新たな啓発活動を見せるホームページ「人権やまなし」が暫定スタートします。このスタートまでには、サーバの設置許可など難問に立ち塞がれましたが、既存の「山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会ホームページ」の目的が我々の創造と合致しているため、このHPを運用する人権擁護課と相乗りすることで合意。ICT推進本部と「HP運用会議」を発足させ、リニューアルに漕ぎ着けました。

新たなホームページの目的は、①人権被害で困っている人に対応し、人権擁護の「道しるべ」として、新たな相談



県連会長 中澤 豊 明けてましてお

### 年頭のごあいさつ

めでとございませう。委員の皆様には輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃から、皆様方がそれぞれの立場で今までの経験を深め、積極的な人権擁護活動に

ご尽力されていることに心から敬意と感謝を申し上げます。さて、一昨年の県連総会で決定し、また委員各位のご理解のもと、組織の近代化へ大きな舵をとらせていただきました。それは組織運営の将来展望を見据えたICT化への取り組みであります。着実な成果をあげているメールリングシステムの構築とホームページの開設は、今の時代

には必要不可欠なツールであり、また人権問題で悩んでいる人にとっても朗報であると考えています。一方、社会的背景もあり男女共同社会を推進する立場から、女性役員の比率向上に積極的な取り組みが今後の課題であります。さらなる努力を重ね、委員皆様のご理解とご協力をお願い致します。

### グループ紹介

甲府協議会 北杜G

北杜グループは、委員相互の「和と協力」をモットーに、男性九名、女性七名の十六名で運営しております。活動には全員参加の協力体制で取り組んでいます。

以前は、「人権の花運動」及び「人権教室」の実施にあたっては、委員の得手、不得手もあることから、授業のほとんど全てを、ベテラン委員に委ねておりました。

本年度は、学校担当委員と子ども人権委員が企画の中心となり、委員全員が一人一役で役割分担をし授業を展開するようにして、実践研究に取り組んだことにより、事業の充実とグループの結束が図られ成果を一段と上げることができました。

また、県連におけるICT化事業の推進により、委員間のコミュニケーションはもとより、グループ会議に併せ、ネットを通して様々な情報を収集し、共有しながら、円滑な年間活動の推進をも図っています。

(グループ長 氏原 宏幸)

### 関ブロ研修会の報告

昨年十月二十九日(三十日)東京九段会館第二庁舎において、「関東人権擁護委員研修会」が開催され、県連全体で十名。協議会別では甲府六名、峡南二名、都留二名が出席しました。

第一日目は、東京弁護士会川村百合氏による「家庭及び学校での人権侵害事例を中心に」と題した講演があり、引き続き五グループの分科会では「中高生に対する人権教室活動の推進について」発表と討議が行われました。

第二日目は、千葉敬愛短期大学明石要一学長の「中高生の人権意識を高めよう」の講演、午後は関ブロ企画、子ども人権、男女共同委員会と事務局長会議が開催されました。

ツールとして提供します。②一般の人を対象に電子媒体の導入による人権啓発活動の充実強化を図ります。③ホームページの開設は、県連運営の近代化への改革策として、円滑な活動の推進に役立てられる新たなツールとします。

# 人権パレードと城北幼稚園のマーチングバンド

平成二十六年十二月四日から十日まで、第六十六回人権週間が実施された。その間、特設相談と山梨県人権擁護委員連合会においても法務局に協力して二つの行事が行われた。



十二月六日、第三十四回中学生人権作文コンテストの表彰式が合同庁舎二階の大会議室で行われ、今回県内八十八校から三、五九八編の応募があり、その中で「いじめ」に関するものが一、四九四編でした。審査の結果は下記に記載されたとおりです。

翌七日は、第十一回人権パレードは、作文コンテストで甲府地方法務局長賞に輝いた精進さんに「一日人権擁護委員」をお願いし、甲府市役所広場において十三時三十分から開会式が行われた。開会式に先立ち、甲府駅南口において関係者からカレンダーやボールペンなどを通行人に手渡し、人権啓発活動を行った。「人KENまもる君」も参加し、家族連れの中には、まもる君と一緒に写真に収まる子供も多く、開会式では城北幼稚園のマーチングバンドの開会ファンファーレの後、中澤県連会長のあいさつに続き、



園児の家族らがカメラにその堂々とした姿を収めていた。(田草川睦美記)

## SOSミニレターの取り組みについて

甲府協議会 笛吹G 渡邊 明文

子ども人権委員会の活動の一つに、『SOSミニレター』への返答があります。本年度も十一月からの取組みの中で、すでに一〇〇件もの子ども達の叫びが寄せられています。中でもいじめ、仲間はずれ、暴力など自分一人では解決できない内容のものばかりです。

このミニレターは県下全ての小中学校に配布され、悩みを書いて切手を貼らずに投函できる優れ物で、相談する人のいない児童生徒にとって救世主となっています。内容的には、悲痛ないじめの内容ばかりでなく、以前では友だちや先生に相談していた軽度の内容のものまで様々です。相談する児童生徒は3・4年生女子が圧倒的に多く、

学年が進むにつれ相談件数は少なくなっています。また、悩みを聞いてくれる人がいない代わりに、私たち子ども人権委員に返事を書いてもらうことで、満足している節もあるように感じています。悩みのない人はいません。現在の世の中では、どの子どもかれ少なかれ悩みを持って生きていくことは確かです。私たちの活動が少しでも役立てばと、これからも頑張っていきます。

## 全国中学生人権作文コンテスト 山梨県大会結果

甲府地方法務局長賞 「だれもが認められる世の中に」	山梨北中学校	3年	精進	主人さん
山梨県人権擁護委員連合会長賞 「知ることの大切さ」	長坂中学校	3年	向井	端紅さん
山梨日日新聞社・山梨放送賞 「『違う!』と言えなかった私」	韮崎西中学校	3年	津金	伽帆さん
山梨県教育委員会教育長賞 「発信の前に考えよう!プライバシー」	駿台中学校	3年	穂山	あかりさん

「一日人権擁護委員」に任命された精進さんにお聞きしました。ソフトテニス部に所属しています。暇な時はよく友達とキャッチボールをします。体を動かしているのが大好きです。歴史が好きなので、戦国武将の本をよく読みます。将来の夢は勉強して理学療法士の資格を目指しています。これから受験勉強をして希望校に進みたいと、明るくはっきりと応えてくれました。(深澤正史記)

### 新任退任委員

▽新任 仲澤富夫(甲府) 三枝久(山梨) 保坂幸美(富士川) 伊藤宗範(身延) 池川良人(市川三郷) 舟久保真由巳(富士吉田) 田中幸雄(都留) 佐藤徹子(道志) 天野千裕(上野原)  
二十六年十月一日付  
櫻井健雄(甲府) 石倉絹子(笛吹) 有賀和子(甲州) 中寫義仁、浅原としえ(南アルプス) 船木直光(小菅)  
二十七年一月一日付

### 編集後記

平成二十七年になりました。あけましておめでとうございます。スタッフ一同皆様に喜ばれる新聞づくりを目指します。本年もどうぞよろしくお願いたします。

「結い」編集者一同